

平成30年11月6日
たかつき保育園

保護者 各位

感染症情報

朝夕はめっきり冷え込むようになりました。日中との気温差もあり体調を崩しているお子さんが増えています。保育園では**感染性胃腸炎と診断されたお子さんがいます。少しでも下痢や、食欲がないときは休養取り、自己判断せず専門医を受診しましょう。**また、先日感染症情報でもお知らせしました**溶連菌感染症でお休みしているお子さんがいます。**引き続き症状に注意してください。

感染性胃腸炎とは

***原因：**腸の細菌感染、ウイルス感染などがあります。特にロタウイルスやアデノウイルス、ノロウイルスの感染が多いようです。

***症状：**突然吐くことで始まり、何度も繰り返すうち、少し遅れて下痢がはじまります。
(どちらかの症状の場合もあります。)また、発熱や鼻水、咳などの風邪様症状が出ることもあります。

吐き気は、初めの2～3日くらいまでにおさまり、下痢も1週間くらいでよくなることが多いようです。

嘔吐、下痢時のホームケア

- ◎ **絶食**—突然の嘔吐が始まったら、嘔吐が落ちつくまで(約6時間ぐらい)何も飲んだり、食べたりしないほうが良いです。
- ◎ **水分の補給**—嘔吐が落ちついたら、初め一口飲ませて、嘔吐がないことを確認したら少しずつ飲ませるようにしましょう。
- ◎ **食事**—水分をとっても吐かなければ腸に負担のかからないもの(お粥・うどんなど)から食べましょう。油・脂肪・乳製品・卵製品は避けましょう。
乳児の場合、母乳は欲しがらだけ飲ませてかまいません。ミルクを薄めるかどうかは医師に相談しましょう。
- ◎ **おしりを清潔に**—下痢をしているとおむつかぶれになりやすくなります。
かぶれてしまう前に、ぬるいお湯で洗い流し、おしりを清潔にしましょう。
- ◎ **手洗い**—嘔吐や、下痢の手当てをしたあと、よく手を洗いましょう。感染力が強いため、大人や他の兄弟に感染することがよくあります
- ◎ **消毒方法**—嘔吐物や便が付着したものは感染の恐れがあるため、塩素系漂白剤(ハイター)で消毒してください。(0, 1%500mlペットボトルにキャップ2杯)
- ◎ **登園基準**—**嘔吐や下痢がよくなり、普通便の確認、食欲がもどってから登園して下さい。**(感染性胃腸炎の時は、保護者記入の登園許可証が必要です。)



嘔吐や下痢の症状がある場合は、自己判断せず小児科受診して下さい。